

# モデル地域プレゼン

愛媛県 内子町様

# 愛媛県 内子町

2030  
Carbon Half



2050  
Carbon Neutral



かわらないように、かえてゆく。  
町並み、村並み、山並みを引き継ぐ、脱炭素リレー。

2026年3月5日  
脱炭素経営フォーラム

令和7年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業【過年度採択地域（モデル地域）による展開先地域（フォロー地域）への横展開】

うちこちよう

内子町



脱炭素推進担当1年生が思った

# 本音の“ハナシ”



①今治モデルを取り入れようと思ったキッカケ

②内子町で取り組んでみてどうだったか

③来年度に向けて

# ①今治モデルを取り入れようと思ったキッカケ



知識も経験もない中で、  
なんかよう分からんけど、とりあえずやってみるか



こんな、かる〜い気持ちで始まった

## 内子町の課題

「ゼロカーボンシティ宣言(2023.3)」以降、  
市内での取組は進んできている一方で、地域事業者への働きかけができていない。



## ②内子町で取り入れてみてどうだったか



脱炭素  
まちづくり

2025.11.6 職員向けの環境学習会で実施。約90名の職員が参加した。

### ○アンケート抜粋

- ・楽しみながら、脱炭素のことを理解できた。
- ・行政、企業、学生、子育て世代など、幅広いメンバーでやってみたい。
- ・現実世界で起こり得ることを、疑似体験できてよかった。
- ・町全体で連携・協力をしなければならないと思った。
- ・もう一度、ゲームをやってみたい(多数)



## ②内子町で取り入れてみてどうだったか

人材獲得や地域貢献にもつながる

「脱炭素経営」！

その考え方を学んでみませんか？

「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業 (令和7年度 環境省事業)」プログラム開催のご案内



「かわらないように、かえていく」。内子町の良さを守り、次代につなげていくために、**脱炭素経営と担い手不足の解消**に一步を踏み出したい企業を募集しています

全3回  
(各2.5時間)

無料

内子町では、「担い手不足の解消」が、分野横断的な課題となっています。  
また、極端な大雨とそれに伴う洪水被害、最高気温の大幅上昇による熱中症患者の増加等、気候変動の影響を実感することが増えています。  
内子町では、「脱炭素 (温室効果ガス排出削減)」と「人材獲得」に皆様が取り組めるよう、「地域ぐるみ」で支援する仕組みづくりを始めます。

### 脱炭素の基礎について知る 「意識変容プログラム」

日時  
・ R7年12月10日 13時30分- } 全1回/2.5時間

場所  
内子町共生館  
会議室 1 (1階)

ファシリテーター  
今治市 環境政策課 住吉 淳氏

#### プログラムの内容

- ・ 脱炭素の基礎に関する講義
- ・ 参加者でカードを交換しながら、地域の脱炭素化を目指すシミュレーションゲーム

#### 参加により得られるもの

- ・ 気候危機や脱炭素に関する基礎知識が身につく
- ・ 脱炭素化を推進するためには具体的に何をすべきなのかわかる

### 脱炭素経営を人材獲得に活用する方法を学ぶ 「行動変容プログラム」

日時  
・ 第1回 R7年12月23日 13時30分- } 全2回/各2.5時間  
・ 第2回 R8年1月20日 13時30分-

場所  
内子町共生館  
会議室 1 (1階)

ファシリテーター  
東京海上日動火災保険株式会社  
愛媛支店

#### プログラムの内容

- ・ 脱炭素経営、GHG排出量算定方法に関する講義・実践
- ・ 人材獲得につながる社外への取組情報の開示
- ・ 排出量に対し実効性の高い削減計画の作成を行うワーク

#### 参加により得られるもの

- ・ 以下を通じて、脱炭素を人材獲得につなげる一步を踏み出せます!
  - 自社の排出量算定
  - 具体的な事例紹介
  - 脱炭素と一緒に取り組む地域の仲間 等

## ②内子町で取り入れてみてどうだったか



本音の“ハナシ”

今治モデルを「そのまま」やっただけ…  
当初予定していた事業ではないこともあり、  
エネルギーをかけきれずにいた。



### 手応えはあり

- ・年間を通して、課題の解像度があがった。
- ・「様々な場で開催し、町民全体の意識変容につなげてほしい」「コスト削減が脱炭素経営につながる事が分かった」など、前向きな意見をいただいた。

今治モデルを内子町で実践



## ②内子町で取り入れてみてどうだったか

今治モデルの実践とあわせて、別事業や最新のアンケート・統計などから、

**課題の解像度が上がり、脱炭素経営支援が必要だと感じることのできた1年になった**

令和7年度

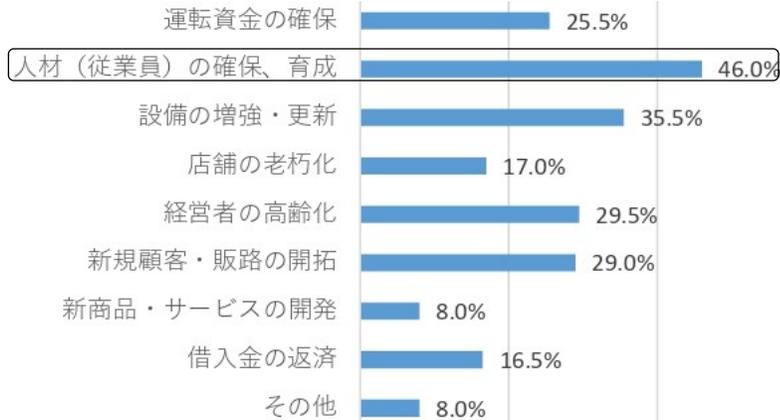
「環境基本計画アクションプラン策定市民会議」から実感  
 ※町民・事業者・行政・高校生・大学生など、様々な主体が参加し、「脱炭素化」などの環境問題に「自分ごと」として取り組むことのできる行動を考える会議。計4回開催。



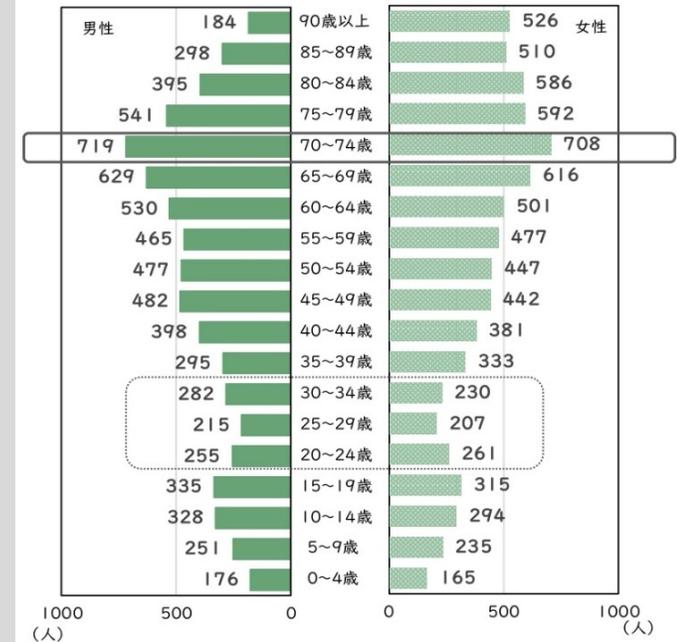
### 各種アンケート、統計などから実感

左)町内事業者支援策に関するアンケートより(R7)

問.現在抱えている経営課題について



右)第3期内子町総合計画より(R7改訂)



### ③来年度に向けて



本音の“ハナシ”

事業者の規模も風土も違う・・・

2歩目、3歩目は踏み出せないかもしれない

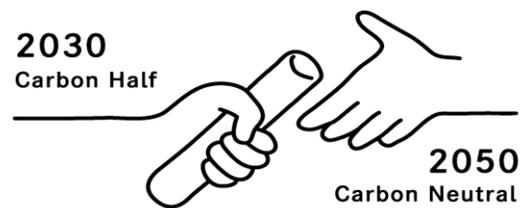


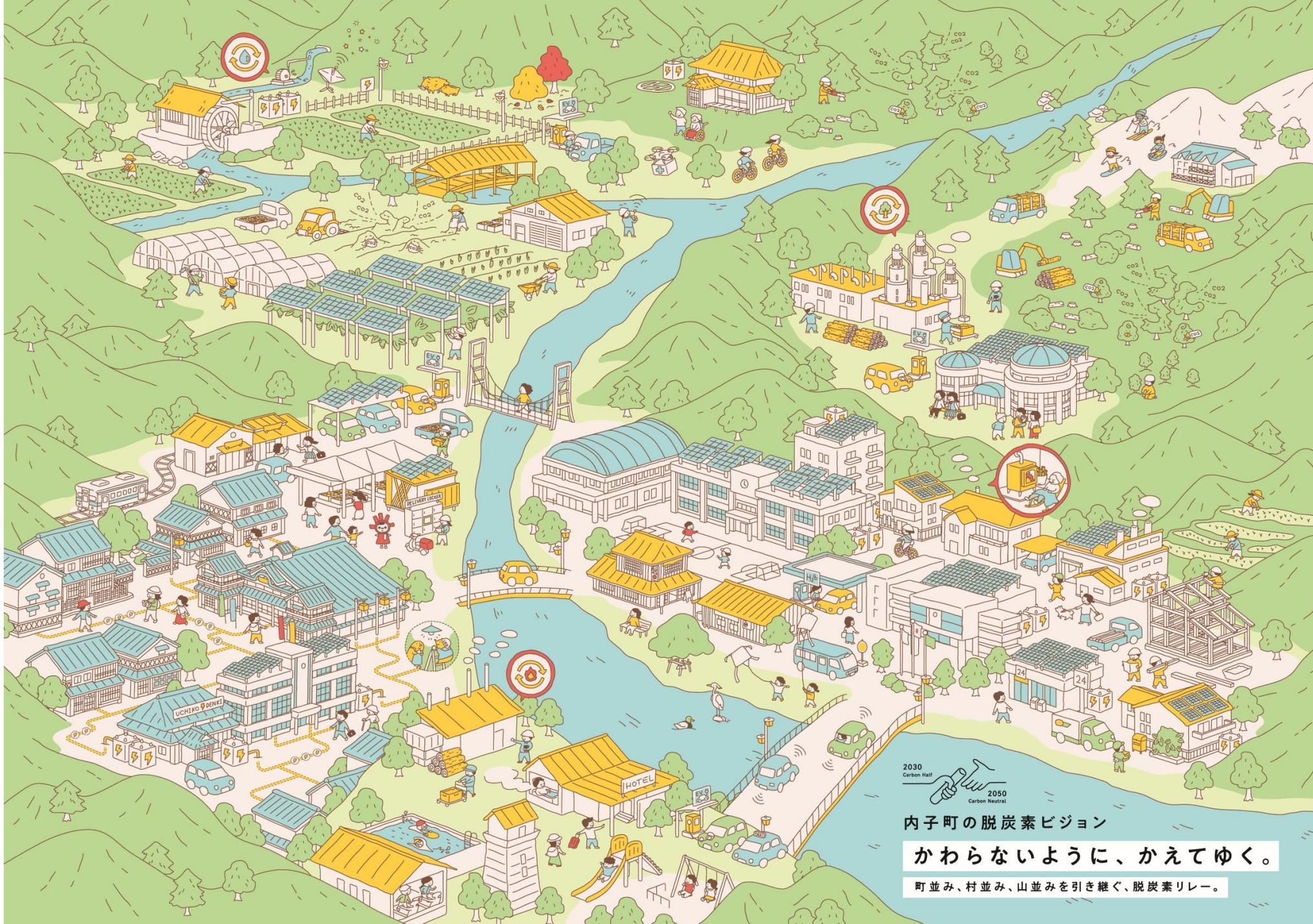
持続可能な“内子版”今治モデルの確立へ

- ①高校生や大学生など、将来的な人材マッチング
- ②伴走体制の強化 ◆
- ③町内人材の育成

かわらないように、かえてゆく。

町並み、村並み、山並みを引き継ぐ、脱炭素リレー。





2030  
Carbon Half  
  
2050  
Carbon Neutral

内子町の脱炭素ビジョン

かわらないように、かえてゆく。

町並み、村並み、山並みを引き継ぐ、脱炭素リレー。